

令和4年度 戸田市立戸田東中学校 授業時数特例校制度の活用について

学校教育目標

「グローバル社会で、将来、豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」
に向けた戸田東小・中学校 PBL の推進

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

(R03.01.26 中教審答申)

⇒ **教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習活動の充実**
等に資するよう、カリキュラム・マネジメントに係る学校裁量の幅の拡大

1 新たな制度「授業時数特例校制度」の概要

○教科等の特質を踏まえつつ、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による特別の教育課程の編成を認める

<特別の教育課程の編成のイメージ>

【標準授業時数】



※総授業時数 1015 時間は変わらず

※各学期、該当教科 1 時間のみ→総合へ（PBL の充実）

時数を上乘せする

2 時数の上乗せの内容

- ・教科等横断的に視点に立った資質・能力の育成に資する学習
- ・探究的な学習活動

(1) 充実する学習内容（PBL）

- ・学習の基盤となる資質・能力（課題発見・解決能力、論理的思考力、言語能力、情報活用能力等）の育成
- ・現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成

(2) 本校の考え方

学校教育目標「グローバル社会で、将来、豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」

新しい時代を生き抜く子供たちに必要な力を育てるために、PBL のさらなる推進と STEAM 教育の充実を図る

⇒

各学年の総合的な学習の時間を上乘せする